

平成 18 年 3 月 22 日

6 号機圧力抑制室における作業の終了について

定期検査中の 6 号機において、平成 17 年 12 月 24 日、圧力抑制室内のグレーチング*¹修理準備作業中に、グレーチング同士を連結していた止め金具 1 個が圧力抑制プール内に落下いたしました。また、12 月 27 日、当該作業中の協力企業作業員が圧力抑制プールの水面にビニール片を発見し、翌日回収いたしました。なお、落下した止め金具、およびその後の圧力抑制室内作業*²において発見・回収したのものについては、作業工程毎にまとめてお知らせすることとしておりました。

その後の圧力抑制室内作業において、平成 18 年 3 月 3 日までに新たにテープ片 3 枚を発見・回収いたしました。回収した一つのテープ片は変色していることから、圧力抑制室の点検確認しづらい部位に付着していたものが移動してきたものと推定しておりますが、残りの 2 枚は新しいことから、今定期検査の作業で使用した養生用テープの切れ端が片づけ作業時に落下したものと推定いたしました。

なお、落下した止め金具については、今後実施する圧力抑制プール内点検作業において回収することとしておりました。

(平成 17 年 12 月 24 日、28 日、平成 18 年 3 月 7 日お知らせ済み)

引き続き実施した圧力抑制プール内の水質浄化および点検作業は、3 月 17 日までに終了し、針金、テープ片および先に落下した止め金具等（合計 85 個）を回収いたしました。

同号機は前回定期検査時に圧力抑制室内点検を行いました。今回は、圧力抑制プール内の確認作業前に水質浄化を実施し水の透明度を高くしたこと等から、圧力抑制室底部に堆積していたクラッド*³内にあり前回点検時に確認しづらかったものが確認できたもの、また、点検しづらい部位に付着して移動してきたものを回収したと推定しております。

今後とも、引き続き異物混入防止対策を徹底してまいります。なお、原子炉起動前には、圧力抑制室内の最終点検を実施する予定です。

以 上

* 1 グレーチング

金属製の格子状の床。

* 2 圧力抑制室内の作業

- ・ 12 月 21 日～ 3 月 3 日 グレーチング修理作業
- ・ 1 月 10 日～ 3 月 3 日 圧力抑制室内機器点検・修理作業
- ・ 2 月 2 日～ 3 月 17 日 圧力抑制プール内水質浄化、プール内点検作業

* 3 クラッド

不溶解性物質の呼称であり、原子力発電所では、給復水系等の鋼材から発生する鉄サビ

等金属不純物が主成分である。

福島第一原子力発電所 6号機 圧力抑制室内回収物一覧

回収物	数 量	概略寸法 (cm)
針金	16	最大 直径0.2×横332
テープ片	19	最大 縦5×横42
ひも状のもの	18	最大 長さ40
ビニール片	9	最大 縦5×横5
紙片	8	最大 縦2×長さ16
金属片	3	最大 縦4×横5
金属製の棒状のもの	2	最大 直径0.5×長さ4
溶接棒	1	直径0.2×横7.5
ガラス片	3	最大 縦4×横5
止め金具	2	最大 幅1×長さ26 ※うち1個は平成17年12月24日に 落下させた止め金具
ひも付きブラシ	1	幅1×長さ35
ボールペンの一部	1	直径1×長さ6
ビス	1	縦0.5×横0.5
ゴム片	1	縦2×横4
合 計	85	